



- 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research & 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 平成 28 年度秋季全国大会 事前参加登録および概要原稿ダウンロードのお願い
- 平成 28 年度秋季全国大会講演概要の頒布について
- WEB 掲載の溶接学会論文集 34 巻 (平成 28 年度) の印刷物の購入について
- 平成 29 年度春季全国大会フォーラム講演募集
- 平成 28 年熊本地震による被災会員 (個人会員) の平成 28 年度会費免除について
- 平成 29 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正について
- 国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について
- 大阪大学 接合科学研究所 教員公募

## 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research & 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)

October 11-14, 2016

Hitotsubashi Hall, Tokyo, JAPAN

<http://trends2016.org/>

### Organizing Societies

- ・ American Welding Society (AWS)
- ・ Japan Welding Society (JWS)

### Conference Co-chairs

- ・ Toshihiko Koseki, The University of Tokyo, Japan
- ・ Stan David, Oak Ridge National Laboratory, USA
- ・ Tarasankar DebRoy, Penn State University, USA
- ・ Thomas J. Lienert, Los Alamos National Laboratory, USA
- ・ Akio Hirose, Osaka University, Japan

### Welcome to Tokyo in 2016

The 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research will be held from October 11 to 14, 2016, in Tokyo, Japan, for the first time outside of USA. The conference covers not only the fundamental science of welding and joining but a wide variety of applications of welding and joining different materials in different industries, which include various approaches of theoretical analysis, experiments and numerical simulations. Also, the conference aims to provide a wonderful opportunity of technical discussions, having leading welding and joining scientists and engineers from all over the world. The 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society will be jointly held during

the conference. So, we cordially invite you to the conference and hope that you will enjoy the technical discussions at the conference and also the best season of Japan.

### Topics to be Covered

- ・ Fundamentals and applications of welding and joining processes
- ・ Microstructure and metallurgical behaviors in welds
- ・ Weldability of different materials
- ・ Weld properties and performances
- ・ Residual stress and distortion in weldments
- ・ Monitoring, sensing and controls of welding
- ・ Testing and inspections for weld integrity
- ・ Welding practices in industries
- ・ Modeling and simulation of weld behaviors

### Important Dates

- ・ April 30, 2016 Abstract Submission
- ・ June 30, 2016 Full Paper Submission
- ・ June 10, 2016 Pre-registration (Early)
- ・ September 2, 2016 Pre-registration (Regular)

### For More Information

Visit the following website, <http://trends2016.org/>

### For Contact

Trends2016 Secretariat:

Mita MT Bldg. 8F, 3-13-12 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-0073, Japan

E-mail: [twr2016@issjp.com](mailto:twr2016@issjp.com)

## 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、平成 27 年 7 月初旬に「会員専用ページに関する重要なお知らせ」を郵送させていただいております。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作(約 5~10 分)をお願いいたします。

- ①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン (会員情報等変更の有無にかかわら

ず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、[member.jweld.jp/mypage](http://member.jweld.jp/mypage) ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

ご協力の程よろしくご申し上げます。

## 平成28年度秋季全国大会 事前参加登録および概要原稿ダウンロードのお願い

講演概要の配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従前の印刷物としての配布はありません。

全国大会会場でのインターネット接続サービス・講演概要印刷サービスはいたしませんので、事前に参加登録をお済ませの上、会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードして携帯するパソコン等に保存されるか印刷したものをご持参くださいませようお願いします。

参加登録期間：平成28年8月16日(火)14:00～全国大会当日

参加登録：<https://jpp1.jp/jwstakai/autumn/auditing/>

○登録の際に正しい「会員番号」が必要です

事前にご確認の上、お手元にあらかじめご用意ください。

会員番号は溶接学会誌送付状宛名欄に記載されている7桁の数字です。

○参加費は当日会場でお支払いください

なお、参加登録後の取消は認められません。参加登録後、諸事情にて大会会場に來場できない場合には、代理の方に参加費の支払いをしていただくか、後日お振込みをお願いいたします。

○講演者（口頭発表者）の参加登録は不要です

別途講演者にお知らせする案内をご参照の上、会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードして携行してください。

○紙書籍の全国大会講演概要は発行しません

デジタル化に伴い、紙書籍の講演概要は発行いたしません。ま

た、全国大会会場での印刷サービスはございませんので、紙面への印刷は予めご自身でご用意ください。

大会終了後、希望者へ別売にて印刷版講演概要を販売予定です。ご希望される方は、会告「平成28年度秋季全国大会講演概要の頒布について」をご覧ください。

○会場でのインターネット接続サービスはありません

会場でインターネット接続をご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されることを推奨します。

○講演概要の閲覧のみのサービスは提供していません

講演概要のダウンロードサイトでの事前閲覧および全国大会当日の閲覧は、全国大会の参加登録を行った方々のみ可能となります。すべての講演概要は大会終了2ヶ月後以降J-Stageで一般公開されますので、全国大会に参加しない方々はJ-Stageを利用して講演概要を閲覧ください。

〈平成28年度秋季全国大会〉

開催日：平成28年9月14日(水)～16日(金)

場 所：伊香保温泉 HOTEL 天坊（群馬県）

参加費：正員・賛助員：10,000円（不課税）

学生員：5,000円（不課税）

非会員（学生）：10,000円（税込）

非会員（学生以外）：20,000円（税込）

（参加費に講演概要のダウンロード権が含まれています）

## 平成28年度秋季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成28年度秋季全国大会講演概要

価 格：12,000円（税・送料込）

発送時期：平成28年11月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成28年9月30日（金）

入金締切：平成28年10月31日（月）

なお、入金締切日までに納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

## WEB掲載の溶接学会論文集34巻(平成28年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。  
印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成28年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 34巻(平成28年度)

**価 格**：溶接学会会員特価 7,500円/年1冊(外税)  
**送 料**：500円(外税)  
**発行時期**：平成29年1月下旬頃  
**送 付 先**：学会誌発送登録先

### 【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成28年11月30日

入金締切：平成28年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。

定価 15,500円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成29年3月31日

## 平成29年度春季全国大会フォーラム講演募集

**主 題**：輸送機器の軽量化を目指したマルチマテリアル接合技術の最前線

**座 長**：芹澤 久(大阪大学接合科学研究所)

**趣 旨**：

高速化などの性能向上、省エネルギー化、CO<sub>2</sub>排出量の削減の観点から自動車、船舶、旅客機等々、陸海空あらゆる輸送機器は軽量化を目指しており、より軽量で高強度な素材の使用が期待されている。自動車では既にアルミ合金、超高張力鋼が用いられており、マグネシウム合金、樹脂、CFRPも採用されつつある。船舶においても重量軽減のために、船殻、艀装に高張力鋼とともにアルミ合金ハニカム材、CFRPが検討されている。また、ガスタービンにセラミックス複合材が使用されるなど構造材以外にも軽量素材が採用されつつある。

このように輸送機器では軽量化のために高比強度の新素材が従来の材料とともに用いられており、マルチマテリアル化が進んできてきている。そして、マルチマテリアル化は異種材料の新たな接合方法を必要としている。例えば、従来困難とされてきたアルミ合金と鉄鋼の接合は、現在、FSW法により接合可能である。接着剤やリベットでなされてきたCFRPと金属材料の接合もレーザ

接合により可能となって来ている。

本フォーラムでは輸送機器の軽量化をマルチマテリアル化により実現するにあたり採用されている異種材料間の接合技術の最先端を俯瞰し、今後の課題と展望について討議する。

### 記

**日 時**：平成29年4月20日(木)(大会2日目)

13:00~17:00(予定)

**会 場**：学術総合センター 2階 一橋大学 一橋講堂  
(東京都千代田区)

**申込方法**：著者名、タイトル、概要(200字程度)、所属、連絡先を明記し、メール(jws-ym@kt.rim.or.jp)またはFax(03-5825-4331)にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

**申込締切日**：平成28年11月1日(火)

**講演採否**：直接申込者に連絡いたします。

**講演論文原稿送付締切日**：平成29年1月31日(火)

## 平成28年熊本地震による被災会員(個人会員)の平成28年度会費免除について

この度の平成28年熊本地震により被災されました会員の皆様  
に心よりお見舞い申し上げますとともに、会員ならびにご家族の  
皆様のご健康・ご安全と一日も早い復興をお祈りいたします。

被災されました個人会員(被災時点で正員、学生員の方)の平成  
28年度年会費を全額免除することになりました。(平成28年6月  
27日理事会決定)

年会費免除をご希望される会員は、下記溶接学会 HP をご覧の  
上、お申し出下さい。

溶接学会 HP <http://www.jweld.jp/>

なお、既に平成28年度年会費をご納付いただいている場合に  
は、平成29年度年会費に充当させていただきます。

## 平成29年度春季全国大会「研究発表」講演募集

平成29年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますの  
で、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従っ  
てお申込ください。

申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領(和文、  
英文)、講演プログラム校正、フォーラム論文募集等講演及び大会  
に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載  
いたしますので、ご確認下さい。

また、原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませ  
んの、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りす  
ることになりますのであらかじめご了承ください。

◇————◇

開催期日：平成29年4月19日(水)、20日(木)、21日(金)

開催場所：学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂  
(東京都千代田区)

### —講演申込募集—

1. 申込期間：平成28年11月17日(木)12:00～  
平成28年12月1日(木)14:00
2. 講演資格：講演者は正員(学生員も認める)でなければなり  
ません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお  
申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同  
一大会での連続報告は2報までですご注意ください。  
◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。登  
録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんので  
ご了承ください。

(円)

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円(税込)	10,000円(不課税)
	学生員		5,000円(不課税)
賛 助 員		発表不可	10,000円(不課税)
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円(税 込)
	学 生		10,000円(税 込)

### 4. 原稿(PDF)提出期間：

平成29年1月12日(木)12:00～2月2日(木)14:00

### 5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従 って作成してください。

### 6. 発表時間：講演10分、討論5分

### 7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を 送信いたします。

### 8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プロ  
グラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を  
及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

(注意事項)

- ①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前  
にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで  
公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希  
望する講演はいっさい受付いたしません。
- ②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システム  
の利用は不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。  
なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイ  
ルサイズの上限は、3MBです。  
PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、  
写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。  
また、原稿提出期間後の原稿差し換えはいっさい受付いたしま  
せんので、提出前にあらかじめ確認してください。

## 溶接学会全国大会講演分類

- ・講演エントリー時に、下記の4分類から1つずつご選択ください。
- ・適当な分類がない場合は、「\*-0 該当なし」をご選択ください。

第0分類 既成セッション		第1分類 技術分野		第2分類 プロセス		第3分類 対象材料	
0-0	該当なし	1-0	該当なし	2-0	該当なし	3-0	該当なし
0-1	オーガナイズドセッション	1-1	溶接・加工方法および一般的特性	2-1	アーク溶接	3-1	鉄鋼
		1-1-1	溶接・加工方法	2-1-1	ガスシールドアーク溶接	3-1-1	低炭素鋼・低合金鋼
0-2	溶接冶金	1-1-2	溶接・加工条件の影響	2-1-2	被覆アーク溶接	3-1-2	高張力鋼(薄板)
0-3	溶接法	1-1-3	溶接・加工結果の総括(溶込み特性など)	2-1-3	サブマージアーク溶接	3-1-3	高張力鋼(厚板)
0-4	継手強度	1-1-4	その他溶接・加工の諸特性	2-1-4	プラズマ溶接	3-1-4	耐熱鋼・耐食鋼
0-5	溶接残留応力			2-1-5	アーク複合溶接	3-1-5	高炭素鋼・高合金鋼
0-6	溶接変形	1-2	冶金的安全性	2-1-6	その他のアーク溶接	3-1-6	ステンレス鋼
0-7	破壊	1-2-1	ミクロ組織			3-1-7	その他の鉄鋼
0-8	疲労	1-2-2	割れ(凝固割れ、低温割れなど)	2-2	抵抗溶接・圧接		
0-9	界面現象	1-2-3	耐食性・耐環境性	2-2-1	スポット溶接	3-2	非鉄金属
0-10	アーク物理	1-2-4	その他冶金的安全性	2-2-2	シーム溶接	3-2-1	アルミ・アルミ合金
				2-2-3	摩擦圧接	3-2-2	銅
0-11	アーク溶接	1-3	機械的特性	2-2-4	その他抵抗溶接・圧接	3-2-3	Ti・Ti合金など活性金属
0-12	レーザー溶接	1-3-1	溶接・接合継手の静的強度			3-2-4	Ni・Coおよびその合金
0-13	レーザーハイブリッド溶接	1-3-2	溶接・接合継手の疲労強度	2-3	高エネルギービーム溶接	3-2-5	Mg・Mg合金など軽金属
0-14	レーザー切断・加工	1-3-3	溶接・接合部の歪・残留応力	2-3-1	レーザー溶接	3-2-6	その他の非鉄金属
0-15	レーザー表面加工	1-3-4	溶接・接合部の破壊じん性・挙動	2-3-2	レーザー複合溶接		
0-16	抵抗スポット溶接	1-3-5	溶接・接合部のクリープ特性・環境強度	2-3-3	電子ビーム溶接	3-3	非金属
0-17	抵抗溶接	1-3-6	溶接・接合部の寿命・LCC・リサイクル	2-3-4	その他のビーム溶接	3-3-1	樹脂
0-18	ろう接・はんだ	1-3-7	溶接・接合以外加工部の諸特性			3-3-2	セラミック
0-19	摩擦攪拌接合(FSW)			2-4	その他融接	3-3-3	その他の非金属材料
0-20	摩擦攪拌点接合(FSSW)	1-4	計測・センシング	2-4	その他の融接		
0-21	摩擦圧接	1-4-1	溶接・加工中の現象観察			3-4	異材接合
0-22	圧接	1-4-2	溶接・加工中の計測	2-5	ろう接・固相接合	3-4-1	鉄鋼／非鉄金属
0-23	固相接合	1-4-3	溶接・加工部の分析・計測	2-5-1	ろう接	3-4-2	鉄鋼／非鉄金属
0-24	超音波接合	1-4-4	溶接・加工部の非破壊検査	2-5-2	拡散接合	3-4-3	非鉄金属／非金属
0-25	マイクロ接合	1-4-5	インプロセス制御・オンライン品質管理	2-5-3	摩擦攪拌接合(FSW)	3-4-4	その他の異材組合せ
0-26	異材接合			2-5-4	摩擦攪拌点接合(FSSW)		
		1-5	解析・シミュレーション	2-5-5	その他ろう接・固相接合	3-5	特殊材料
0-27	表面改質・クラディング・積層	1-5-1	熱・温度分布の解析			3-5-1	薄膜
0-28	フォーミング	1-5-2	歪・残留応力の解析	2-6	接着・機械接合	3-5-2	粉体
0-29	ピーニング	1-5-3	加工現象のシミュレーション	2-6-1	接着	3-5-3	その他の特殊材料
0-30	応力計測	1-5-4	組織・材質予測	2-6-2	リベット・ピアシングリベット		
0-31	センサ・制御	1-5-5	継手強度・性能予測	2-6-3	かしめ・クリンチング		
				2-6-4	その他接着・機械接合		
		1-6	システム設計・開発				
		1-6-1	加工システム・機器	2-7	その他接合		
		1-6-2	生産システム・工程管理	2-7	その他の接合方法		
		1-6-3	品質保証				
		1-6-4	安全・衛生・教育	2-8	表面加工・積層		
				2-8-1	表面焼入れ・熱処理		
				2-8-2	クラディング・合金化		
				2-8-3	積層造形		
				2-8-4	表面微細加工		
				2-8-5	その他表面加工・積層		
				2-9	切断・除去		
				2-9-1	熱切断		
				2-9-2	割断・溝加工		
				2-9-3	穴あけ		
				2-9-4	アブレーション		
				2-10	その他加工		
				2-10	その他の加工		

## 全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま WEB 公開しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

### 1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

### 2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A, B）にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

### 3. 原稿の書き方

#### イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙（A）の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

### ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、用紙の枠いっぱいコマ数（40 字×37 行）だけ打ってください。（全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません）

文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

### ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、関連する本文の近い場所に貼付してください。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

### 4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

### 5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

12pt, 明朝体  
プラズマ溶接の研究

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦  
世界電機 夏川 春樹

10.5pt  
Study on Plasma Welding

10.5pt by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→  
本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑  
1~2 字アケル

## Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and published as "Preprint of the National Meeting of JWS":

### 1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

### 2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

### 3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A.

Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

### 4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt. 明朝体

## PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

### INTRODUCTION

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

10.5pt

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

## 全国大会講演プログラム校正について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

ホームページ上で大会プログラムの校正刷りを公開しますので、ご確認のほどお願いいたします。

### 記

#### 1. 校正開示

大会プログラムの版下が完成後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。)万一事故等により E メールが未着の場合にも、3 月下旬には開示いたしますのでご利用ください。

また、正式プログラム公開後の修正はいたしませんのでご留意ください。

#### 2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上(ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

#### 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

#### 5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

## 国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について

IIW では、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文(単独著)を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。

この賞は、IIW 科学技術幹事 H.Granjon 氏 (仏) を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1 国から 3 分野 3 論文(1 分野 1 論文) まで応募できます。

奮ってご応募ください。

#### 申込要領:

次の事項を記載し、全論文(和英何れでも可)を付して、メールにて期日までにお申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位(学士、修士、博士など)

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日: 2016 年 10 月 9 日

申込先(連絡先): 日本溶接会議 (JIW) 石丸賢二

email: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

#### 国内審査:

応募いただきました論文を国内審査し、11 月初旬までに IIW 本部宛、JIW 事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会 (IIW) での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳(10 ページ程度、10 月 31 日までに)していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2017 年上海大会になります。

## 大阪大学 接合科学研究所 教員公募

### 1. 公募人員：准教授1名

(大阪大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。)

### 2. 所属：大阪大学接合科学研究所 接合機構研究部門 溶接機構学分野

### 3. 専門分野：

金属材料の溶接・接合メカニズムを、材料科学と接合力学を融合した界面科学アプローチによって解明するとともに、高機能な接合部を形成できるプロセスの開発・評価に資する基礎・応用研究と教育を行い、接合科学の進歩・発展に寄与できる方

### 4. 応募資格：博士の学位または外国の Ph.D.を有する方

### 5. 着任時期：採用決定後、可能な限り早い時期

### 6. 任期：5年(実績評価により再任可)

### 7. 選考方法：書類審査(必要に応じて面接を実施)

### 8. 応募要領：

#### (1) 必要書類

- ・履歴書(写真貼付)
- ・研究業績目録(査読付原著論文, 国際会議論文, 著書, 総説・解説, 特許, その他に分類下さい。原著論文がインパクトファクターを有する場合はインパクトファクターを, また被引用件数も併記して下さい。)
- ・主要論文別刷(5編以内, コピー可)
- ・これまでの研究業績の概要(A4用紙2ページ程度)

・着任後の研究教育活動の計画と抱負(A4用紙2ページ程度)

・科研費等外部資金獲得の状況(代表者あるいは分担者を明記)

・その他の特記事項(受賞, 国内外での学会活動, 社会活動, 産学官連携など)

・2名の方からの推薦書(別送または別封),

または応募者について所見を伺える方2名の氏名と連絡先

### (2) 応募締切日：平成28年9月30日(金)必着

### (3) 応募書類の提出先

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1

大阪大学接合科学研究所 庶務係長宛

Tel 06-6879-8677

(封筒に「大阪大学接合科学研究所 接合機構研究部門 溶接機構学分野教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で郵送のこと。応募書類は原則として返却しません。)

### 9. 本件に関する問合せ先：

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1

大阪大学接合科学研究所 接合機構研究部門

溶接機構学分野 教授 伊藤和博

(Tel: 06-6879-8659, E-mail: ito@jwri.osaka-u.ac.jp)

接合科学研究所 HP:

<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>